

GDPR についてよくある質問

一般データ保護規則 (GDPR) は、欧州連合 (EU) 市民と同様に、その地域でビジネスを行っている Eastman のような企業にも影響を及ぼします。この法律は、企業によって収集されたデータを保護する目的で作られており、EU に住む人々にその情報によって何がなされるのかを知る権利を与えます。

以下は GDPR についての一般的な理解と皆様と Eastman に及ぶ影響についての質問リストです。

GDPR とは？

GDPR とは、一般データ保護規則 (General Data Protection Regulation) の略です。これは、EU 中においてプライバシーを統一することとデータ主体の個人情報を保護することに焦点を当てた新しいヨーロッパの規制です。これは、2018 年 5 月 25 日に法的効力を生じるもので、1996 年に遡る法律に取って代わるものです。

この規制は誰に適用されますか？

この規制は、個人情報のデータ取扱いや移動に関連するデータ主体の保護に焦点を当てています。データ主体は、EU に住む自然人でなければなりません。ヨーロッパの市民権に基づくものではありません。企業体はありません。

個人情報に含まれるものは何ですか？

個人情報とは、自然人を特定できるすべての情報を指します。例としては、名前、電話番号 (ビジネス用、個人用)、E メールアドレス (ビジネス用、個人用)、ID カード、位置情報データ、クレジットカード番号、オンライン識別子、およびデータ主体の身体的、生理学的、遺伝的、精神的、経済的、文化的、社会的識別性がある 1 つ以上の要素があるものです。このリストは、個人を識別できる情報 (PII) と通常考えられるもの以外にも拡大されます。

GDPR の下では、どのような権利がデータ主体に与えられますか？

この規制はデータ主体に以下の権利を与えます。

- ・ データにアクセスする権利
- ・ データを修正する権利
- ・ データを消去する権利
- ・ データ取扱いを制限する権利
- ・ データを携帯する権利
- ・ 異議を唱える権利

Eastman が個人情報収集し、取り扱うことができる法的根拠は何ですか？

- ・ データ主体が同意を与えることができること
- ・ データ主体が契約履行に基づいて同意すること
- ・ Eastman にとって、組合法または加盟法の下で法的義務を遵守すること
- ・ 自然人の重大利益を保護すること
- ・ 組合法または加盟法が目指す公衆利益のために業務を遂行すること
- ・ Eastman または第三者によって追求される正当な利益のため

GDPR によって誰が影響を受けますか？

ヨーロッパに住んでいる社員、契約者、ベンダー、カスタマーと交流する者すべて

GDPR における Eastman の責任は何ですか？

Eastman は個人情報が適法に、公正に、透明性を持って取り扱われることを確認しなければなりません。いかなる個人情報も、具体的で明確かつ合法的な理由により収集されなければなりません。個人情報の収集は、必要なもののみに制限されます。そのために Eastman は、以下の事項を認識する必要があります。

- ・ どの個人情報が収集されているか
- ・ 個人情報がどこに保管されているか
- ・ 個人情報がどのくらいの期間保管されるか（またはその期間を決定する基準）
- ・ 個人情報を取り扱う（使用する）目的
- ・ 個人情報取扱いの法的基盤
- ・ 個人情報に誰がアクセスできるか（第三者を含む）
- ・ 個人情報はどのように保護されるか